

第三三回 武蔵野文学賞「高校生部門」 土岐善麿短歌賞 — 首単独の部

【最優秀賞】

牛乳に浸した食パンみたいだな白いブラウス三年目の冬

中村
巴月

【優秀賞】

見上げても教室みたい吊り革が息を揃えて相槌を打つ

佐野
晃太

百年後も思い出したい「サイゼリヤ　由来」を友とググった今日を

土屋
沙音

そのへんにただよっているファの音に二人乗りして地獄へ行こう

峯田
陽仁

【佳作】

曇り空今ならにか始められるそんな気がして絵の具を出した

植草 結良

弟がわたしの背をぬきホクホクと笑ってかき込むタケノコご飯

河野 紗姫

中秋の名月すすきはないけれど好きです君には言えないけれど

中村 巴月

マーカー跡///ズ母の名古ぼけた英和辞典から父を読み取る

柳原 萌々子

公園のベンチ下には酒瓶あり集団下校の歓声を聞く

矢野 麟太郎